

員会と同じテーブルにつき、将来に向けて検討すべきと思っている。

質問 市民会議の持ち方だが、市民が傍聴できるように配慮していただきたい。

答弁 市民会議委員の意見を尊重して期待に添えるよう調整したい。

質問 白岩の燈火祭の参加者が少ない理由に、仙北市の広報に掲載されなかったという声があった。協働という精神からすればおかしいと思う。職員に協働ということばが理解されていないのではないか。

夜間の急患対応の時間延長は市民の期待に応えたい



田口喜義

質問 市立田沢湖病院の経営改善に向けての点検評価と、医師確保（4月1日より秋山医師が副院長として採用）により障

る。その手法として地域運営体の設置を準備している。

質問 駒ヶ岳の女岳の温度が上昇し、噴火の可能性がある。風評で観光客がこの地域に来なくなると思いますが市長はいかがか。

答弁 駒ヶ岳の噴火警戒レベルの導入は平成21年10月27日だ。レベル1の平常である。監視体制は気象庁、東北大学、国交省の3機関で監視している。情報を的確に速やかに伝えることで、風評被害は最小限、未然に防げると思う。

害者施設等一般病棟化の継続と夜間の急患対応については、継続と時間延長は可能なのか。

答弁 経営改善のため病床利用率の悪化を食い止めるため障害者施設等一般病棟化を開始し、病床利用率70%を確保し、大幅な収益増につながって

いる。

しかし、常勤医2名での病床利用率70%を確保することは、医師の多大な過重労働が掛かっている。4月から医師の充足により労働環境の改善が図られたときには、若干の入院患者増も見込めるとし、更なる収益増につながることから、当面はこの状態を維持して病院の体力を付けることが最善と考えている。

夜間の救急対応については現在午後7時15分までの対応となっている。

当直勤務は大学からの非常勤医師による対応が大きいことから医師1名増員されても、非常勤医師に頼らざるを得ない状況である。



医師の増配置が決まった市立田沢湖病院

時間延長については、当病院の医師と大学からの派遣医師との調整を早急に進め、市民の期待に応えて参る。

質問 生活基本である市民の交通確保についてどうが、高齢化に伴い、一人暮らしや老夫婦の方々の病院や買い物等の支援について、特に冬場においては、交通機関の乗場まで行き着くことが困難な方々がとても多く、高齢者のサポートとして戸口から戸口までの足の確保はできないか。

答弁 本市の行政区域は広く、目的まで数回乗り継ぎが生じたり、自宅から停留所まで1キロメートルの地域もあり高齢者への早急な対応が求

められている。田沢地域において、高齢者の依頼を受けて、代行して買い物を行い届けるというサービスを始める動きもある。

新年度において、地域交通支援係を設置して高齢者や障害者の方々に移動の不便を来しているかの調査を考えている。

質問 今年の大雪は高齢世帯にとって辛い年だった。雪力キ券（有料ボランティアも含）を発行してその日のうちに対応する対策はできないか。

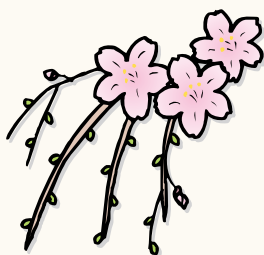
答弁 新しい提案であり実施するためには個々の調査が必要である。今後対応の仕方を検討する。

質問 市民参加のまちづくり、市民が主人公の行政について、市民参加は市民がいつでも、だれでも参加できるかという課題がある。だれでも市民

参加できるには役所の実態やその他多くの情報を市民に知らせ、これであるのかという意見を聞くことである。北海道のニセコ町では具体的な予算の内容（もつと知りた今年の仕事）を町民に知らせる説明書を配布している。

税金がどんな使われ方をしているか、町の課題や問題点、疑問点を発見しよりよいまちづくりのための議論の一助として活用しているので仙北市でも情報提供のため発行できないか。

答弁 情報提供については、行政懇談会などあらゆる機会をとらえて提供している。広報も月2回にしてきめ細やかにお知らせをする。市民向けの予算書は検討して参る。



老人福祉施設の民営化はなぜ必要か？ 行財政改革の断行が必要



小田嶋忠

質問 養護老人ホーム「角館寿楽荘」、特別養護老人ホーム「桜苑」の民営化については、市長のマニフェストに記されていない。今、あえて民営化する理由は何か。その理由について伺います。

市長は「終の棲家」ということばをどのように受け止め、どのように感じているか併せて伺う。

答弁 文言として明記していないが、「徹底的な行財政改革を断行します」とあるのは、私の決意と理解いただきたい。「終の棲家」については、老人施設あるいは病院で亡くなる方が多いということは指摘の通りである。しかし法令等に基づくかぎり、「終の棲家」ということばは適切でないと思う。寿楽荘は自立者の生活の場なので、自立できな



平成23年度に民営化される予定の「桜苑」

ければ退所となる。したがって「終の棲家」ということばには、あてはまらないと思う。

質問 入所者の説明会で、市民に問うべきだという声があったと聞くが、どのように対処されるか伺いたい。

答弁 市民を代表する議会に説明し、協議するという話をした。

質問 今後新設する特養は、「小規模生活単位型」が基本で、現施設も個室ユニット型に整備しなければならぬと聞いているがどうか。またその場合は入居者負担は増えると思うが、従来型と比較して非課税世帯で一ヶ月1万5000千円、年金収入が80万円を超え、266万円以下の第3段階では、3万9千円負担増となる。家計を益々圧迫することになる。どのように考えるか。

答弁 秋田県が策定している社会福祉施設等の施設整備における基本方針では、養護老人ホーム、特養老人ホーム等新設はユニット型とすると規定されている。

特別養護老人ホームを新設整備した場合は指摘のような高負担になると思う。

質問 民営化を進めるためには納税者であり、受益者でもある住民が十分な情報を共有し、意思決定に参加して議論に加わることが不可欠である。財政再建や効率化あるいはサービスの向上と、いろんな理由が付けられるが、何でも民営化では理解できない。公的な役割を構築すべきと考える。

当局の賢明な対応を要望する。答弁は伺えない。

質問 高齢化が進む中で「まちづくり」は、市長のいう安心・安全がテーマとなる。克雪対策は雪国にとつて将来にわたる課題といえる。従来の対策だけでは不安が増すことにな

質問 職員の労働時間短縮について伺う。平成21年10月9日に県人事委員会は、職員の給与等に関する勧告を行った。その中に、勤務時間の改定があるが、仙北市は実施していない。その理由を伺いたい。

答弁 仙北市の勤務時間の短縮の導入については、行政サービスや行政コストへの影響や他市の実施状況を踏まえて、検証した上で、支障がない場合導入する。平成22年度中に確認できれば、23年度中に導入したい考えである。

道路行政の怠慢でないか！ 県と再協議する



田口勝次

質問 高齢者が進む中で「まちづくり」は、市長のいう安心・安全がテーマとなる。克雪対策は雪国にとつて将来にわたる課題といえる。従来の対策だけでは不安が増すことにな

る。高齢者個々の事情に見合ったキメ細かな行政支援が制度的に必要と思うがどうか。

お医者さんや交通機関に近い便利な場所に、高齢者専用の住宅を官民協働事業として取組む気はないか。

歩行者に優しい街路づくりが必要と思う。歩道の安全性に留意した道路行政はどうか。

将来に向け、「地域丸ごと観光」を標榜したらどうか。まち研の蔵伝、紅そば栽培など地域丸ご

質問 観光商工部に組織を改めたが、まずは行政にその理念、哲学が必要でないか。仙北市を背負っていく仕事人が配置されなければならないと思うが、どのような組織体制を考えているか。戦略会議とは何か。

角館は「桜と武家屋敷」だけでは集客力は年々落ち込む気がする。